*学生による試作品提案の募集！*

福井大学 “学生試作品作製支援事業”（学生ILF事業）　募集要項

福井大学産学官連携本部では、本学卒業生の寄付（※1）により、本学学生のアントレプレナーシップ（起業マインド）の養成のため、本学学生を中心とした試作品作製による起業準備活動を支援します。

本学学生を対象とした支援事業のため、知的財産（以下「知財」とする）を有するものでなくても、支援対象としています（知財を基にした提案では、支援上限金額を高めにしています）。

本事業では、自分たちで試作品を作り上げることが難しい部分は、福井大学産学官連携本部が組織する匠コンソーシアムの方々の支援を受けることができます。

１．支援額執行可能期間、支援額（支援総額200万円以内を想定）

　支援額執行可能期間：採択日以降～令和7年2月28日（金）

|  |  |
| --- | --- |
| 提案分類 | 支援上限金額（※2） |
| 学生のアイデアによる試作品作成 | 20万円 |
| 福井大学が有する知財を、学生が中心となり、試作するもの（※3） | 100万円 |

２．応募資格・応募・お問い合わせ

　将来の事業化を視野に入れた試作品を作製する意欲をもつ学生、または学生グループが応募可能です。本学予算執行規則にて、本学教員の協力が必要な場合がありますので、提案の試作品作製に理解と後見をしていただける教職員から、あらかじめ同意を得てください。

　応募用紙に必要事項を入力し、産学官連携本部事務室にメールにて提出してください。直接記入した場合は、スキャンする等の添付ファイルにてメールをご送信ください。

　（応募用紙提出）創業支援部　entre＊hisac.u-fukui.ac.jp

　（応募締め切り）令和6年6月21日（金）（※4）　（採否結果）7月上旬以降を予定

　（お問い合わせ）創業支援部

entre＊hisac.u-fukui.ac.jp　（応募・問い合わせともに、＊を半角の＠に変更）

３．活動の報告義務

　本支援は必ずしも成果を求めるものではありませんが、粘り強く続けてください。失敗した場合はその理由を具体的且つ詳細に明らかにしてください。

・令和6年12月頃に進捗状況についての中間報告会を予定、困っていることなどご相談ください。

・令和7年3月17日（月）までに、A4で1～2枚の実績報告書を提出していただきます。（※5）

（※1）「（株）ミッション起業支援基金」により実施する事業です。

（※2）福井大学の規定に従い、産学官連携本部事務室を通じて、執行してください。1提案当たりの支援金額は、表の上限金額までとし、事前計画にて記載された、想定される試作品材料や加工費の実費を支援します。よって支援上限金額にて提案を行うのではなく、想定される試作品と提案見積内容が合致していることを重視します。

（※3）「福井大学が有する知財」とは、発明人が本学に属する教職員等である特許権等を指します。当該研究者のアドバイスや指導を受けながら、学生または学生グループが中心となり、試作品を作成するケースを想定しています。

（※4）審査の過程で、応募学生本人、ならびに知財等を発明した教職員等に、ヒアリングを行うことがあります。また学外アイデアプランコンテストの予選通過等をした場合、本締め切り日に限らず、支援を決定することがあります。

（※5）本支援は知財創出を目指すものではありませんが、試作過程等で生じた知財等の扱いは、大学規定に従います。

福井大学 “学生試作品作製支援事業”　応募用紙

|  |  |
| --- | --- |
| 代表者 | 学籍番号：　　　　　　　　　　名前：　　　　　　　 |
| 代表者住所 | 電話番号：　　　　　　　　　　　　　　eメールアドレス：　　　　　　＠ |
| 本学教職員名（必須） |  |
| 団体名（団体の場合） |  | 設立（団体の場合） | 年　　月 |
| 総数（団体の場合） | 　　　　名（うち福大生　　　名） | ［グループの説明］（1人の場合は記載不要） |
| 応募者の知財の有無（〇をする） | 無　・　有　（出願・登録番号等：　　　　　　　　　内容：　　　　　　　　　　　　） |
| 本学知財利用の有無（〇をする） | 無　・　有　（出願・登録番号等：　　　　　　　　　内容：　　　　　　　　　　　　） |
| 本学発明者の名前（いる場合） | （名前）　　　　　　　　（所属・役職）　　　　　　　　　（連絡先内線） |
| 試作品の仮タイトル |  |
| 試作品の内容や図など、をわかりやすく記入（別紙を追加可、福井大学関係の技術者に協力を仰ぎたい場合はその旨を記載） | 支援希望額の詳細（現時点での計画で可） |
|  | 左記の試作品の材料費や作製費など、関係する予算計画を記入してください。左記の活動内容に大きな変更がない限り、事前に産学官連携本部事務室に問い合わせの上、全体予算内である程度の金額の変更は可能です。福井大学の匠の方々の費用は、外注費として見積もり、およその金額の記載で結構です。試作品材料も種類や型番、名前等、わかる範囲で記載してください。（内訳）　　　　　　（金額）　　　　　　　　　　　　（　　万円）　　　　　　　　　　（　　万円）　　　　　　　　　　（　　万円）　　　　　　　　　　（　　万円）　　　　　　　　　　（　　万円）　　　　　　合計　　　　　　万円［支援を受けたい技術があれば〇］　①　機械設計②　アルミやステンレスの溶接　③　金属・非金属・樹脂加工④　各種加工（フライス加工等）⑤　機械・制御回路設計⑥　機械組み立て・配線・調整【記入例】）材料A　8千円×5　　　　（　４万円）材料B　10千円×4 　　　（　４万円）材料C　10千円×5　　 　（　５万円）外注費（匠〇〇氏希望）　（１０万円）外注費（学外〇〇社）　　（　５万円）雑費　　　　　　　　　　（　1万円）合計　　　２９万円 |